

授業では教えてくれない微積分学 正誤表

本書の内容に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

お手持ちの本の「刷数」とこの表の「該当刷数」が一致する箇所をご参照ください。お手持ちの本の「刷数」の調べ方は[こちら](#)

(2024年12月26日更新)

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1	36	下から 5行目	正の平方根に限定すれば、…	非負の平方根に限定すれば、…
1	38	例 3.1.3 2～3行目	$x=0$ では $f(0)=0$, $x=\pm 0 \cdot x_{(1)} x_{(2)} \cdots x_{(n)} \cdots$	$x \in \mathbb{Z}$ では $f(x)=1$, $x=\pm [x] \cdot x_{(1)} x_{(2)} \cdots x_{(n)} \cdots$
1,2	38	例 3.1.3 7行目	…, 定義の 2 行目…	…, 定義の 3 行目…
1,2	78	MEMO 最下行	…, ネイピア数が無理数であることの証明でも使いました.	…, ネイピア数が存在することの証明でも使いました.
1	121	MEMO 最下行	積分範囲を A の内側から広げていく単調増加な極限と解釈します.	積分範囲を A の内側から単調に広げていくときの極限と解釈します.
1,2	143	脚注 最下行	章と付録 E があります.	章と付録 F があります.
1	159	B.3 7行目 8行目	$x=0$	$x=0.111\cdots$
1,2	181	[4] 4行目	面積の概念も第 1 章と付録 E に述べられていて、…	面積の概念も第 1 章と付録 F に述べられていて、…